

記録の マテリアリズム

Materialism of Archive

神戸大学国際文化学研究推進センター

チアパス自治大学先住民研究所 合同国際シンポジウム

日時：2019年11月10日（日）

午前10時半～午後5時

場所：神戸海外移住と文化の交流センター

記録のマテリアリズム

神戸大学国際文化学研究推進センター /
チアパス自治大学先住民研究所
合同シンポジウム

PROMIS, Kobe university/IEI, UNACH
Joint International Symposium

使用言語：英語・日本語（部分通訳あり）

参加無料

事前申し込み不要

問い合わせ：神戸大学国際文化学研究推進センター
gicls-promis@research.kobe-u.ac.jp

主催：国際文化学研究推進センター /
チアパス自治大学先住民研究所
PROMIS 研究プロジェクト「モノ」、移動 /
移民、ナラティブの領域横断的研究
(代表・小笠原博毅)

共催：神戸大学先端融合研究環

1 開催目的

私たちの関心は、どのように個別の記憶がモノ自体に刻印されているのか、そしてさらには過去、現在、未来の集合的なモノの系譜が物理的なモノとの関係においてどのように具現化されているかにある。記録は必ずしも文書として存在しているだけではなく、まさに紙とインクとして、そしてまた木材、石、布やそれらを組み合わせ作られたアイテムも含むものである。「モノ」は、ここでの私たちの目的に照らせば、移動と交差文化化の歴史過程に文脈の中で考えることができる（パート1のテーマ）。そしてモノはある種のメディア性を提供してくれるし、そのおかげで私たちは記憶について考える機会を得ることができる（パート2のテーマ）。記録とは単に過去の記載ではない。多様な時間性をつなぎ合わせる工作物として真剣に考察しなければならない。そこで私たちは、二人の人類学者をメキシコから招き、このような問題関心を共有し、生き生きとした議論の機会を作り出そうと考えた。

2 プログラム

総合司会 栢木清吾 (PROMIS)

10:30 オープニング 小笠原博毅 (神戸大学国際文化学研究科)

パート1：記録のメディア性

10:45 チェア 井上弘貴 (神戸大学国際文化学研究科)

10:50 スピーカー ホセ・ルイス・エスカロナ・ビクトリア
(CIESAS、メキシコ社会人類学高等研究科)

11:35 討論者 ジャンルカ・ガッタ (神戸大学客員教授)

12:00 Q&A

12:15 昼食

パート2：移動する / 交差文化的な記憶のマテリアリズム

13:45 チェア 幸島理人 (神戸大学国際文化学研究科)

13:50 スピーカー グラシア・インベルトン・デネケ (チアパス自治大学先住民研究所)

14:35 討論者 中谷文美 (岡山大学社会文化学研究科)

15:00 Q&A

15:45 ラウンド・テーブル討論

チェア 小笠原博毅

すべてのスピーカーと討論者

コメンテーター 鋤柄史子 (チアパス自治大学先住民研究所)、
南郷晃子 (PROMIS)

17:00 終了

日時

日時：2019年11月10日(日)
午前10時半～午後5時
Date: November 10 Sun.
1030-1700

会場・アクセス

会場：神戸市海外移住と文化の交流センター
〒650-0003 神戸市中央区山本通3丁目19-8
・JR/阪神「元町」駅東口から鯉川筋を北上し徒歩15分
・市営地下鉄「県庁前」駅より徒歩10分
・JR/阪神/阪急 三宮から市バス7系統「山本通3丁目」
または「山本通4丁目」下車徒歩3分